

信頼の高い独自の機構と

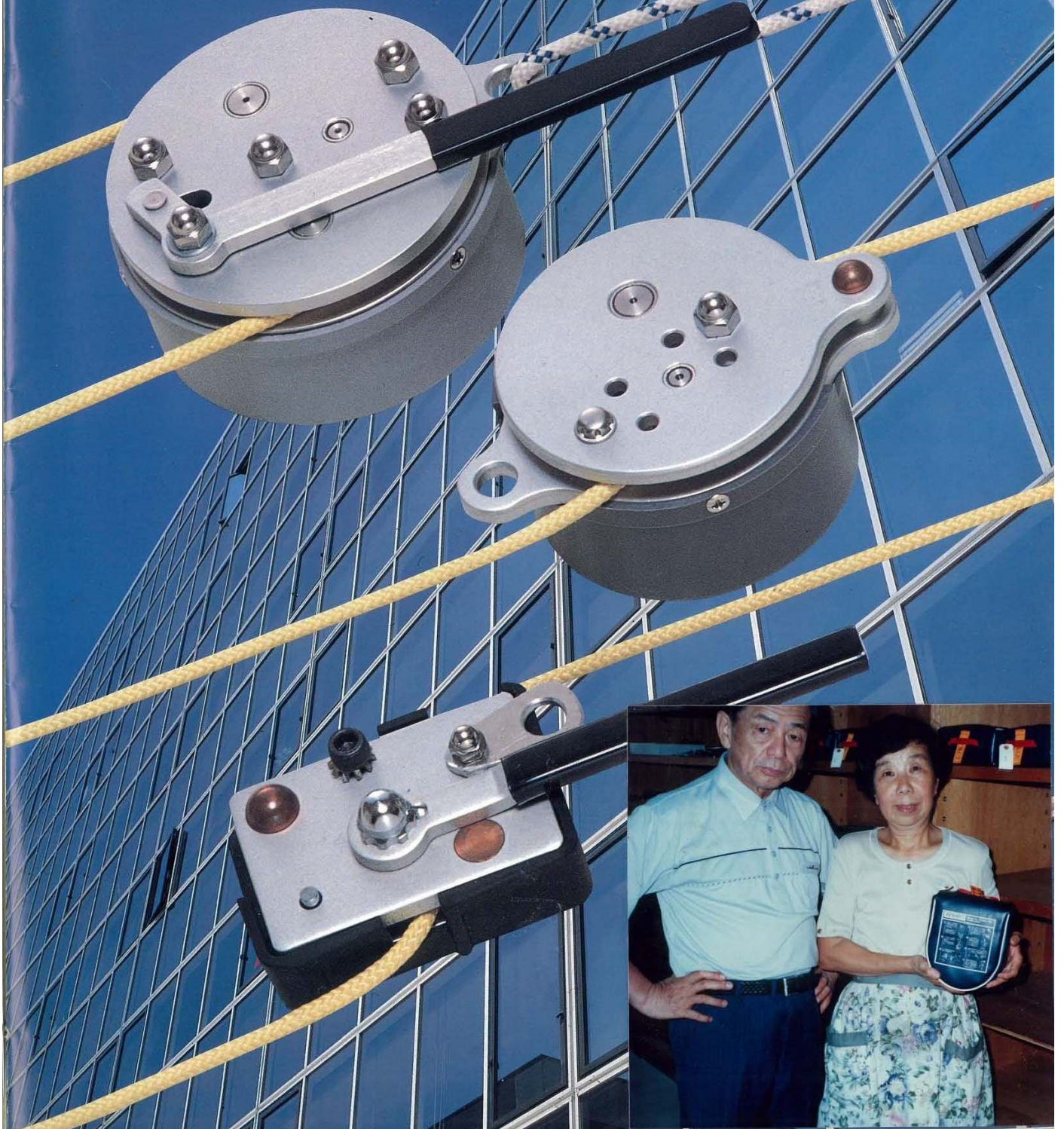
新素材組紐ロープの結合から生まれた

防災・安全のための新しい必需品

世界一強くて小さな緊急脱出用具

ルセービ

高所安全降下具



強力・コンパクトな緊急脱出用具ハイセーバー。 万が一……のその時、頼りになります。

災害は突然にやってきます。とりわけ、都市でのビル火災などは想像を超えた速さで事態が急変し、まさかと思われるような重大な被害をもたらすものです。万が一……のその時、もしもその場に安全・確実・簡便な緊急脱出器具があれば、そして、火災や有毒ガスの襲い来る前に一刻も早く脱出・降下できれば……。ビル火災によってひきおこされる悲劇は安全・確実な緊急脱出用具ハイセーバーによって未然に防ぐことができるのです。



ハイセーバーI

●手さぐり状態でも安全な降下姿勢を確保

●万一、飛び降りた場合にも緩衝装置が身体にかかる衝撃を吸収

ハイセーバーII

●フックの工夫によりロープ先端の固定も簡単、確実

●25kg~100kgでも消防庁が定めた安全な速度

●老人や病人でも安全な自動降下

●小型軽量で旅行先などへの携帯に便利



●降下の操作はひとりでもOK

●組紐ロープだからねじれ・よじれによる旋転もなし

ハイセーバーIII

●組紐ロープの材質は熱にも強い「ケブラー」繊維

●降雨・寒冷などの悪条件下での使用もOK



本製品の開発の原点となったのは、2008年の熊本地震。被災者の方々の救出に貢献する特許技術の出会いが「ハイセーバー」(内装用)の誕生(特許出願中)に繋がりました。

3年前の熊本地震をもつ装置と、当社の独自の技術による特許技術の出会いが「ハイセーバー」(内装用)の誕生(特許出願中)に繋がりました。

【防災メモ】
62年度消防庁発表によれば、81年度中の火災事故による死者は258人(火災事故死者の約2割)と、死者は71人という数字が報告されています。特に死者は、建物が燃える時に発生する有毒ガスを吸い、意識を失って死亡するケースがほとんど。ビルやマンションなどで火災が発生してしまわないように、一刻も早く窓から脱出する必要があるのです。火災警報に響き、シートベルトをする習慣が定まるように、日頃の万全の防災対策が生活にゆきわたることが望まれます。

ハイセーバーは各製品ともA+の生産物賠償保険に加入しています。

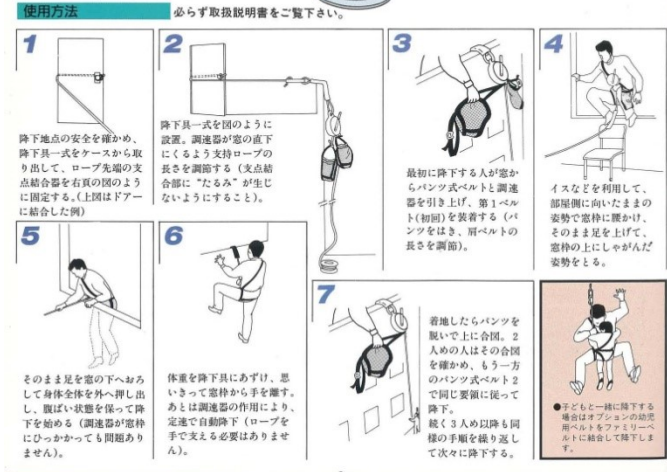
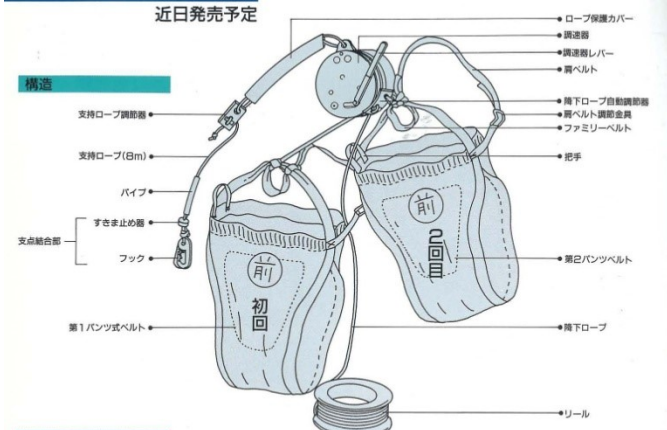
緊急事態での使用に際し、万一設置の誤りによって事故が発生した場合、ご購入いただいたから5年以内の製品について、1人最大5,000円までの賠償責任を保障いたします(商品保証期間は5年以内とさせていただきますが、保険期間及び商品管理上の都合です)。

ハイセーバーI

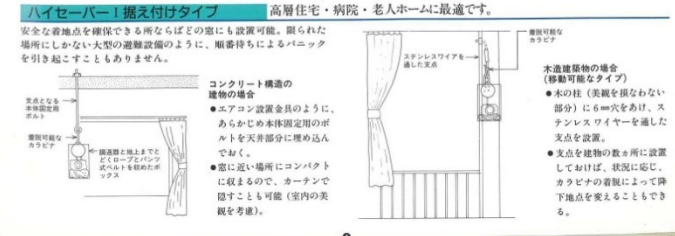
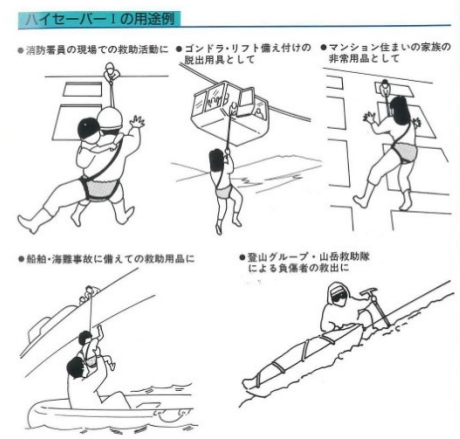
つるべ式高所安全降下具

近日発売予定

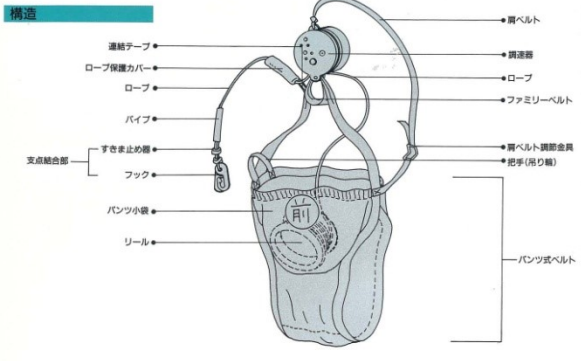
つるべ式の連続降下で巻き揚げ不用、老人・子どもの脱出も安全です



小グループの緊急脱出に威力を発揮。切迫した状況でも効率の高い脱出が可能です。



構造



使用方法

- 右手でケース上部の持ち輪(赤)を持ち、左手でつまみ(オレンジ色)を引っぱる。
この時、右手はハンツの右側の把手を握っていることになりす。
- ハンツ式ベルトを装着し、肩ベルトの長さを調節する。
- 降下地点の安全を確認し、リールを窓から出す。次にロープ先端の支点結合部を右側の支点に室内に固定する(上の図はドアに固定した例)。
- 密着へ行き、ロープを20cmほど引き出して、ロープ保護カバーが窓枠の上下に当たることを確認する(引き出し過ぎたら戻す)。
- イスなどを利用して、足元を上げて、窓枠の上に乗る。そのまま足を上げて、窓枠の上に乗る。そのまま足を上げて、窓枠の上に乗る。
- そのまゝ足を窓の下へおろして身体全体を外へ押し出し、腹ばい状態を保って降下を始める(調整器が窓枠に引っかかっても問題ありません)。
- 体重を降下具にあずけ、思いきって窓枠から手を離す。あとは調整器の作用により、定速で自動降下(ロープを手で支える必要はありません)。

クルマのシートベルトのような手軽さで緊急・非常事態のあらゆる場面に活躍します。

ハイセーバーIIの用途例

- 外国旅行などでホテルを利用する際の携帯必需品として
- 消防隊員の救助活動用器具として。避難させる人数分の個数を備えて現場に急行。1人に1個ずつを添えて降下させる。
- ホテル・ビルからの脱出用品として各個室に設置
- 会社でのひとりのロッカールームの常備品として
- 高層建屋事故に備えての非常用品として
- ホリコプターからの降下用器具として

ロープ先端の固定方法

- フックを使って、ドアや柱・ベッドなど強固なものに固定する。
- すき止め器を使って、ドアや壁のすきまにはさんで固定する。(※窓枠が壊れる場合)
- 窓枠がドアを開けないようケースに固定用の降下表示をノブに貼らせてください。
- 降下する窓のひつつの窓にすき止め器をはさみ、施設して固定する。
- 高層建屋などでの事故でクルマから脱出する場合は、フックを使ってハンツ式ベルトをシャフトに固定する。

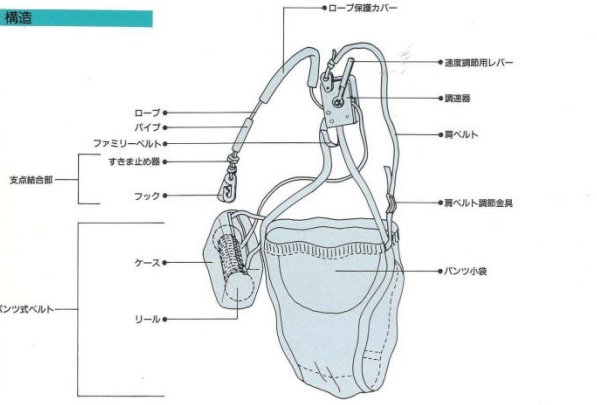
ハイセーバーII挿え付けタイプ

ホテル・旅館のシングル室、ワンルームマンションに最適です。

- 窓小窓・窓スペース設計のシンプルな機械を損ねることなくどこにでも設置できます。各部屋の開口部(窓など)の状況に応じてお取り付けください。
- ホテルのシングル室などの場合
 - 窓に近い位置にあらかじめ本体固定用のボルトを設置していただく。
 - 紐を引くと、ケースの下部が開いてハンツ式ベルトが落下。同時にフロントの警報装置が作動して急知らせる(巻戻防止)。
- 本住宅の場合
 - 木の柱(表紙を損ねない部分)に6mm穴をあけ、ステンレスワイヤーを通した支点を設置。
 - 支点を窓枠の敷き板に設置しておけば、状況に応じてお好みの位置に降下地点を定めることもできる。
 - リールにロープ36m巻いておけば、たとえば3階より家裏5名が次々に降下できる。(専用のロープ巻戻器を使用)

近日発売予定

構造



ハイセーバーIII装着状態

- ロープはケースに入れなくて、下へ投げおろす場合もあります。
- 作業の内容によっては、ハンツ式ベルトのかわりに登山用ベルトを使用することもできます。
- 速度調節用レバーを操作して降下。
- レバーから手を離せばその場でストップ。両手を使っている作業が可能です。

あらゆる場面に活躍するハイセーバーIII。救助活動だけでなく、高所作業、万一墜落したときの安全確保レジャー、スポーツ…と幅広い用途にご利用いただけます。

ハイセーバーIIIの用途例

- 足場の設置が困難な場所でのペンキ塗り作業
- 建築現場での高所作業(降下、身体確保、落下事故の予防に)
- 山岳救助活動(負傷者の運搬、資材運搬に)
- 船舶甲板での作業・漁場作業(マストでの作業、荒天時の安全確保に)
- 引越などでの重量物降下作業(調整器を送り出し側に設置して)
- ビルなどのガラスふき作業
- 現場での機軸の身体確保・事故防止
- 屋根の雪おろし作業
- 消防現場でのレスキュー活動
- スキーリフト故障時の降下(各リフトに設置)

用途・機能に応じた3タイプ。ひとつひとつの製品の信頼性には確かな裏づけがあります

ハイセーバーシリーズの主な特長

- パンツ式の身体保持機構のため、落下で支えるものに比べて苦痛もなく装着に誘いがありません。
- ロープ保護カバーが鋭いエッジに対して強く、エッジに自動的に荷重を分散するので安全です。
- 超軽量・コンパクトな可搬タイプ、シンプルでしかも堅牢なメカニズムは多少のショックにはびくともしません。その強度は、荷重を25kg~100kgに設定しての100m40回連続落下テストにより実証済みです。

- ハイセーバーのメカニズムはめんどろなメンテナンスも不要。注油や分解掃除の手間はまったくありません。
- ハイセーバーの本体を構成する各部品の強度は(財)日本消防設備安全センターの厳格な基準をゆうゆうクリアしたものを採用しています。
- ロープ素材には直径4.3mmケブラー(デュボ社製特殊繊維)の組紐ロープを採用。426℃の高温に耐え、防弾チョッキにも使われ

- るケブラー織物のロープは、1,000kgの荷重もゆうゆう支えます。
- 思いきって飛び降りても、優れた緩衝作用により即座にショックを吸収。ベルト・ロープ・支点到負担がかりません。ロープを3mたるませた状態で100kgの重さの人間が飛び降りても安全に自動降下します。
- ロープは調速器のどちらの側へも軽く引き出すことが可能。降下具一式のセットインがスピーディーに行えます。

ハイセーバーシリーズ取扱いに関する注意

- 本製品を入手されましたら、少なくとも一度は装着を試み、各部の機能をお確かめください。
- 降下者の体重(携帯品の重さを含む)は、25kg以上100kg未満でご使用ください。
- ロープ先端の結合部と避難口開口部のエッジとの間にさしわたされたロープに“たるみ”が生じないようご注意ください。
- 開口部のエッジ部分とロープとの接触面には、必ずロープに設けられた保護カバー(プロテクター)をあてがった状態で使用してください。
- 使用される期間温度範囲は-20℃以上であることが条件です。

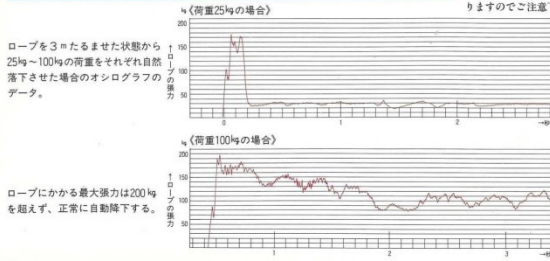
- 保管に際しては、湿気・水分・直射日光を避けてください。
- また、くに降下ロープを太陽光線に長時間さらす状態では避けてください。強度が劣化する場合があります。
- ハイセーバーI・IIにつきましては万一の危険に備え、使用回数限度を設定してあります。回数限度に達したものににつきましては、直接、発売元へお送りください。実費で点検・部品交換のうえ、改めて使用回数限度を表示してお届けいたします。

〈ロープ使用回数限度〉

| | | |
|-------|-----|------|
| 100kg | 65回 | 25kg |
| 5回 | 10回 | 15回 |

- ハイセーバーIIについては、(財)日本消防設備安全センターの認定はロープ長19m(5階相当)となっています。[実験ではロープ長100m・100kgでも安全に作動しますが、もっぱら法的制約に基づき事情によるものです。]
- パンツ式ベルトを一度も履いたことのない方、または現場で指導できない方には貨身しないでください。また、特に興味本位で降下を試すことも避けてください。
- 個人専用でお持ちの方は、ご使用者の体形に合わせて、あらかじめベルトの長さを調節しておくことをおすすめします。
- 調速器を分解したり、調速器よりロープを外したり、ロープの結びをほどいたりとは絶対しないで下さい。万が一分解、ほどき等なされた商品は責任を負えない場合がございますのでご注意ください。

自然落下を伴う衝撃試験の一例



ハイセーバーシリーズ製品概要および仕様

ハイセーバーI (近日発売予定)
(つるべ状高所安全降下具)



| 規格 | 降下ロープの長さ | 支持ロープの長さ | ケースの大きさ | 重さ |
|-------------|----------|----------|----------------------|-------|
| ハイセーバーI-15型 | 15m | B m | 18.5m x 24cm x 8.5cm | 2.1kg |
| ハイセーバーI-30型 | 30m | B m | 18.5m x 25cm x 8.5cm | 2.4kg |

| | |
|-----------------------|--|
| 構成要素 | ①支点結合部(フックとすまどめ鎖)・②支持ロープ・③調速器・④ロープ保護カバー・⑤避難口開口部・⑥ロープ保護カバー・⑦リール・⑧収納ケース |
| 調速器 (重さ20kg) | ●機構……荷重の降下に伴うロープの走行により、V溝を設けた溝車を回転させ、遠心力プレーンを回転させることにより降下速度を制御する。 ●降下速度……60m/秒以上120m/秒未満(国家基準は150m/秒以上150m/秒未満) いずれも荷重25kg~100kgの場合 ●分解掃除・注油などのメンテナンス不要 |
| 降下ロープ (高所作業用・100kg未満) | ●外径……4.3mm ●引張強度……1,000kg ●素材……ポリプロピレン(商品名ケブラー) |
| 支持ロープ | ●外径……4.3mm ●引張強度……1,000kg ●素材……ポリプロピレン(商品名ケブラー) |
| パンツ式身体保持具 | ●メインベルト(引張強度-2,000kg)、パンツ、肩ベルトの組み合せ ●材質……ナイロン ●肩ベルトは、使用者の体高と胸囲に合わせて長さの調節が可能 |

ハイセーバーII
(1階高所安全降下具)



| 規格 | ロープの長さ | ケースの大きさ | 重さ |
|--------------|--------|------------------------|--------|
| ハイセーバーII-15型 | 19m | 16.5m x 19cm x 8.5cm | 1.4kg |
| ハイセーバーII-30型 | 36m | 18.5m x 20.5cm x 8.5cm | 1.75kg |

| | |
|---------------------|--|
| 構成要素 | ①支点結合部(フックとすまどめ鎖)・②ロープ保護カバー・③調速器・④ロープ・⑤身体保持具・⑥リール・⑦収納ケース |
| 調速器 (重さ550g) | ●機構……荷重の降下に伴うロープの走行により、V溝を設けた溝車を回転させ、遠心力プレーンを回転させることにより降下速度を制御する。 ●降下速度……60m/秒以上120m/秒未満(国家基準は150m/秒以上150m/秒未満) いずれも荷重25kg~100kgの場合 ●分解掃除・注油などのメンテナンス不要 |
| ロープ (高所作業用・100kg未満) | ●外径……4.3mm ●引張強度……1,000kg ●素材……ポリプロピレン(商品名ケブラー) |
| パンツ式身体保持具 | ●メインベルト(引張強度-2,000kg)、パンツ、肩ベルトの組み合せ ●材質……ナイロン ●肩ベルトは、使用者の体高と胸囲に合わせて長さの調節が可能 |

ハイセーバーIII (近日発売予定)
(遠距離用レバー付高所安全降下具)



| | |
|---------------------|---|
| 構成要素 | ①支点結合部(フックとすまどめ鎖)・②ロープ保護カバー・③調速器・④レバー付調速器・⑤ロープ・⑥身体保持具・⑦リール・⑧収納ケース |
| 調速器 (重さ200g) | ●機構……走行するロープに駆動を加え、速度調節レバーを上げれば降下速度は増加し、下げれば減速、さらに下げれば停止する。(レバーから手を離せば直ちに停止) ●降下速度……レバーの調節により任意の速度に設定が可能。 ●分解掃除・注油などのメンテナンス不要 |
| ロープ (高所作業用・100kg未満) | ●r) 緊急脱出用 ●素材……ポリプロピレン(商品名ケブラー) ●r) 作業用 ●素材……ナイロン |
| パンツ式身体保持具 | ●メインベルト(引張強度-2,000kg)、パンツ、肩ベルトの組み合せ ●材質……ナイロン ●肩ベルトは、使用者の体高と胸囲に合わせて長さの調節が可能 |